

日本共産党 和歌山市公議員

ひめだ高宏ニュース

NO.952

13.3.27

2月定例会市議会報告



3月25日(月)2月定例会市議会が終わりました。日本共産党は、提案された88件の議案のうち問題のある一般会計予算などに1件に反対。採決に先立つ反対討論は、森下さち子議員が行いました。

旧同和事業の継続など問題アリ

「一般会計予算の歳入について、景気低迷で税収が増える要素もないまま積極予算と銘打ち、100億円を超える市債を積み増す予算は、後年度負担をさらに重くし、将来に不安を残します。歳出では、職員の退職手

フワッのん



過去の失政ツケ市民に負担

特別会計予算について、保険料負担が大きいのには保険料軽減措置が図られない。国民健康保険と介護保険。失政のツケを市民に負わせる土地造成事業と駐車場管理事業。旧同和事業による3件の住宅関係の貸付事業は何十年も対策を放置していた問題があり反対。

ことは地方自治体の主体性が問われる問題です。

畜産振興交付金の廃止は、利用実態や経営状況などの検討がなされたことが問題。学校体育施設開放事業は、事業のあり方が問題。

地域を限定した特別対策としての旧同和事業予算を継続しています。共同浴場交付金、隣保館の附属機関委員報酬、工レバーター管理人員報酬金、地域子ども会

支援交付金などは、どうして一い認められません。

こんにちは

日本共産党の

ふじい健太郎

です。(その361)

参議院選挙まで、あと3カ月。日本共産党は全国で650万の得票、比例5議席の獲得をめざして、支持を訴えます。

今度の参議院選挙ほど、国民のくらしにとって重要な選挙はないという思いが強く感じられます。年金が今年の12月受け取り分から3年間で2.5%カットされ、来年4月からは消費税は8%に引き上げることが予定されています。「税と社会保障の一体改革」で、年金、医療、介護、子育てなどの制度改革の結論は今年の8月までに出すこと

の期待が高まっています。増税と社会保障負担の大幅増が参議院選挙のあとにまわっているわけです。世間では、安倍政権への期待が高まっています。という世論づくりが進められていますが、紙幣をジャンジャン刷って、インフレを起こし、見かけ上の経済膨張で、消費税増税の環境がととの、たそんな策略が周到に準備されているようにも見えます。



ふじい健太郎 前県会議員

和歌山市議会初の 議員提案で「防災」条例可決

2月定例会市議会最終日、和歌山市議会初の議員発議による「和歌山市みんなどよりくま災害対策基本条例」が可決しました。

昨年4月、市議会全員協議会で(財)地域開発研究所の牧瀬稔先生を講師に、議員提案政策条例の学習会が開かれたことが契機となり、6月議会で政策条例策定協議会が設置されたこと

その後、まずこの2月議会提案をめざし、防災の条例から進めることを決めました。条文の制定、市民のみならずの意見募集を経て、今回の提案になりました。

中村座長をはじめ、他会派の議員と一緒に取り組めたのは、なかなか素晴らしいことでした。今、私、ひめだは、この条例のパンフレット作成係として市民クラブの芝本議員、公明党の松本議員と一緒にパンフレット

こんにちは 日本共産党です

安倍首相の「3本の矢」とは？
金融緩和で日銀が毎月ウン兆円の紙幣をバラま

い。個人はこの不況下では住宅ローンも組めず、本日の矢は折れる。
公共事業の大盤振る舞いで大借金をつくり、ゼネコ

ンまでは潤うが、働く人の賃金は上がりず国民消費は上向かず、2本目の矢はホトリ。
大企業への減税で「国際競争力」をつけてヤリ、イ



原やすひろ (参院選挙区)

作りに取り組んでいます。この条例は、今後の取り組みと市民はじめみんさんの意見を盛り込むために2年後に見直すことを規定しています。ぜひ条文をお読みいただき、みんなで災害対策に取り組みましょう。

全会一致で4つの意見書可決！

2月定例会市議会最終日、議員発議による4つの意見書が可決しました。
日本共産党も提案に加わり全会一致で可決したものは、解除保安林の再指定について

の意見書、(和歌山南インターチェンジ)の早期建設促進に関する意見書、北朝鮮による核実験に断固抗議することにも、拉致問題の一刻も早い

ほつらうい 建設替を市長明言！

和歌山の「ほつらうい荘」が先の計画を決めないまま取り壊す予算が提案されたことに関し、絆クラブの北野議員と私、ひめだの代表質問への市長答弁について、この予算を審議した

3月13日の厚生常任委員会に出席を要請された市長が北野議員への本会議の答弁を訂正。民間からの提案、建設、管理により「ほつらうい荘」機能を持つ施設の建設を検討すると前進。